

総合的な学習の時間 学習指導案

単元名「生き方について考える～盛岡で活躍する人・仕事にふれて～」

期 日 令和元年 11月 8日 (金)

場 所 2年 A組教室

学 級 2年 A組

男子 16名 女子 10名 合計 26名

指導者 星川 陽一

1 単元設定の理由について

(1) 生徒の実態及びこれまでの学習過程について

本校の総合的な学習の時間のテーマは「人間としてのあり方や生き方を探究する」と設定している。それを受けて、第2学年は探究課題を「生き方について考える～盛岡で活躍する人・仕事にふれて～」と設定し、生き方について探究する。

第1学年では、陸前高田市を訪問し、被災地の現状や震災当時の思いについて、実際に見たり聞いたりする活動を行った。そのなかで、「自然への畏敬の念」や「自他を尊重し、互いに協力する必要性」を学んだ。沿岸部での活動を踏まえ、地元企業に目を向け、実際に訪問し、「働くことの意義」や「企業が地域に貢献するために必要なこと」について情報収集した。さらに、グループごとに考えたことを発表したり、他のグループの発表と関連付けたりしながら、学習を深めることができた。

1学期は、地元企業の職場体験学習を通して、これからの生き方を考えるうえで重要となる望ましい職業観・勤労観や社会奉仕の精神を学んできた。その際、事前に職業についての情報収集を行い、働いている人にインタビューする質問事項を決定した。その後、職場体験活動を行い、学んできたことを整理・分析し、学級内で発表会を行うといった探究のプロセスを経験した。

また、9月に総合的な学習の時間に関わる資質・能力について全国学力・学習状況調査の質問紙調査と同じアンケートを行った。将来の夢や目標を持っている生徒の割合は、全国平均を上回り、総合的な学習の時間の有用性を感じている生徒が半数を超えているなど、前年度の学習の成果を見ることができる。しかし、普段の授業の様子から、目的意識を持って課題解決に取り組む力が弱いことや、将来の夢や目標を持っていても、その実現のための手段を考え実行する経験が少ないことが分かった。これらを踏まえ、第2学年の総合的な学習の時間では、探究的な学習活動を意識した単元作りを行い、生き方について深く考えることを通して、育成を目指す資質・能力を高めたいと考える。

(参考資料) 全国学力・学習状況調査 生徒質問紙 (令和元年 2年生を対象に実施)

| 質問番号 | 質問事項 | 選択肢 | | | |
|---------------|--|------|------|------|------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| H30 1(3) | 将来の夢や目標を持っている | 60.0 | 20.0 | 20.0 | 0.0 |
| | | 45.3 | 27.1 | 17.4 | 10.0 |
| H30 7(22) | 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか | 28.0 | 40.0 | 16.0 | 16.0 |
| | | 10.6 | 28.1 | 39.6 | 21.7 |
| H29 11(56) | 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる | 52.0 | 44.0 | 0.0 | 4.0 |
| | | 21.3 | 43.0 | 25.7 | 9.7 |
| H28 9(44) | 「総合的な学習の時間」の勉強は好きだ | 44.0 | 52.0 | 4.0 | 0.0 |
| | | 26.0 | 42.3 | 21.8 | 9.7 |
| H28 9(45) | 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つ | 56.0 | 32.0 | 8.0 | 4.0 |
| | | 25.8 | 47.0 | 20.0 | 6.9 |

(1:当てはまる 2:どちらかといえば、当てはまる 3:どちらかといえば、当てはまらない 4:当てはまらない)

(1段目:本校の生徒数の割合(%) 2段目:全国(公立)の生徒数の割合)

(2) 題材について

「人間としてのあり方や生き方を探究する」ために、第2学年では地元の企業で実際に働く体験や盛岡で活躍する人へのインタビューを通して生き方について考えを深めていく。「どのような生き方をしているのか」、「何を大切にしているのか」を考えることは、生徒にとって、今を見つめなおし、将来を展望する上で重要な活動である。その道で活躍していたり、憧れの存在だったりする人たちから話を聞き、その思いに触れることで、今の自分を振り返り、自らのこれからの生活を具体的にイメージさせたい。そして、インタビューから得た情報を個人やグループで整理・分析しながら、自分自身の特徴を内省的に捉えたり、周囲との関係で理解したりして、学ぶ意味や自分の将来について考える機会としたい。

(3) 指導について

生徒の実態から、目的意識を持って課題解決に取り組む力が弱いいため、本単元を通して、自分の将来と結びつけながら個人の探究課題を設定したり、調べた情報を整理・分析し、根拠とともに自分の考えを持ったりするなどといった思考力・表現力・判断力を身につけられるようにしたい。また、「生き方」に対して、単元の前後で考え方に深まりがあるようにしたい。

生徒は、調査やインタビュー活動が不足していることから、第1単元では、それぞれが興味のある地元企業を訪問し、実際に働くという経験を通して、社会に参画する態度や働くことの意義について興味・関心を高める。第2単元では、社会で活躍する人と自分の将来とを結び付けて課題を設定し、各自調査を行い、盛岡でインタビューをする自主研修を行うことを通して、生き方について考えを深めることを通して資質・能力を育成する。振り返りについても単なる感想記入ではなく、生き方について学んだことを自覚化するために、視点を与えて生徒が学びの充実感や満足感を感じたり、資質・能力の高まりを感じたりする機会にしたい。

2 単元目標

自らの将来を考え、職業について調べることや実際にインタビューをすることを通して、自らの生き方について考えることができるようになるために、次の資質、能力を育成する。

| | | 育成を目指す資質・能力 |
|----------------------|--------|---|
| 知識及び技能 | | <ul style="list-style-type: none"> ・より良い生き方をするために必要なことを知り、自らの将来に必要なことについて気付く。 ・努力の必要性や自己の生き方について考え、今何をすべきか理解する。 |
| 思考力、 判断力、 表現力等 | 課題の設定 | <ul style="list-style-type: none"> ・生き方について自分の将来と結びつけながら個人の探究課題を設定する。 ・目的意識をもって課題解決のために計画を立てる。 |
| | 情報の収集 | <ul style="list-style-type: none"> ・目的意識をもち、文献やインターネット、体験活動、インタビューなど多様な方法で必要な情報を集める。 ・課題解決の方向性を考え、必要な情報を取捨選択する。 |
| | 整理、分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・事象を比較、分類し考え、その特徴を見つけて情報を分析する。 |
| | まとめ、表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じてわかりやすくまとめ、表現する。 ・わかったことを相手に伝えるために手段を選択する。 ・学習を振り返り、これからの学校生活、自らの生き方に活かす。 |
| 学びに向かう力、 人間性等 | | <ul style="list-style-type: none"> ・探究したことをもとに自分自身を見つめ、自分自身の良さや課題を考えるとともに、将来への思いや希望を持ち、これからの生活に生かす。 |

3 単元構想図 (別紙資料)

4 本時について

(1) 主題「生き方について考える」

(2) 指導目標

将来の夢の実現に向けて、自分に必要なものは何かを、個人の探究テーマに関連させながら、考えることができる。

(3) 本時の評価規準

| | |
|---------------|---|
| 知識、技能 | |
| 思考・判断・表現 | ・個人の探究テーマに関連させながら、将来の夢の実現に向けて、自分に必要なものは何か考えることができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・協働的に取り組むことで、新たな視点を得ることができる。 |

(4) 本時の指導構想

前時までには、盛岡自主研修や電話でのインタビューで得た新たな発見や気づきを整理し、探究テーマの答えを考えている。本時は、探究テーマの答えや得られた新たな知見を、普段の生活に反映させることを狙ったものである。

導入では、生徒それぞれの探究テーマに対する考えを基に、将来の夢の実現に向けて必要なことは何か考えることを示す。

展開では、はじめに将来目指す生き方や働く姿についての考えを交流する。次に、その実現のためにはどのようなことをすればよいか、今求められる姿は何かを考える。そして、グループの意見交流で、共通する考え方や個人特有のものなどを比較し、自ら生き方に対する考えを深めていく。

終末では、かかわり合いを通して、自己の考えの変容したことや深まったことを考えさせ、協働的に考えることの良さを感得させたい。

(5) 本時の展開

| 過程 | 学習活動 | 支援及び評価 |
|---|--|--|
| 導入 (5分) | 1 前時まで考えた、個人テーマに対する考えについて確認する。 2 本時の内容について確認する。 3 課題を把握する。 | 1 個人テーマに対する考えをまとめるために、情報を整理・分析したことを振り返る。 2 将来の夢の実現に向けて必要なことは何か考える時間であることを説明する。 |
| 学習課題 将来の夢の実現に向けて、自分に必要なものはどんなことだろう？ | | |
| 展開 (35分) | 4 個人で、将来目指す生き方や働く姿について考える。 5 グループで考えを交流する。 6 将来の夢の実現のために、自分に必要なものは何か考える。 7 自分の考えを根拠とともにグループで交流する。 8 グループでの交流を基に、全体で交流する。 | 4 職場体験や盛岡でのインタビューなど、今までの活動を振り返り、自分なりの考えを持つ。 5 質問があれば、個人の発表後にすることを指示する。 6-1 フリーカード法を用いて、複数考えさせる。(付箋紙) 6-2 自分自身を肯定的に捉えられない生徒については、過去の成功体験を振り返らせる。 7-1 時間を区切ってテンポ良く行う。 7-2 共通の事柄が出てきた場合、どうしてなのかも考えさせたい。 【思考・判断・表現】 ・個人テーマに基づき、将来の夢の実現のために必要なものは何か考えることができる。 8 選んだ理由も発表させる。 |
| 終末 (10分) | 9 授業を振り返り、課題解決の見通しや集団の考えから思考の深まりや変化を感じたことなどを書く。 | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協働的に取り組むことで、新たな視点を獲得することができる。 |
| <p>・最初は将来の夢という働きたい職業というイメージだったけど、どんな職業であっても、自分らしく生きることが大切だと思った</p> <p>・同じ班の仲間は、目指す生き方がはっきりしていた。私はまだ、はっきりと決めることはできないけど、大事にしたいことを見つけることができた。</p> <p>・グループ学習を通して新しい視点を獲得することができた。それは、〇〇ということだ。これから、〇〇の大切さについて考えたい。</p> | | |

単元構想図（第2学年）

